



全体説明



報告者 郡山市 市民部
セーフコミュニティ課長 渡辺 正樹



I 郡山市の概要



面積 757 km²(61位)

人口 327,872 人(65位)

※全国792市中の順位

※2020年10月1日 国勢調査人口



福島県の中央に位置し、高速道路、国道、鉄道が交差、交通量が多い



○ 地理

- ・ 盆地に中心市街地を形成
(近隣市町村を含む商業圏の中心)
- ・ 郊外には水田が広がる穀倉地帯
- ・ 阿武隈川 (繰り返す水害)
- ・ 猪苗代湖 (市の水源)

○ 気候

2021年

- ・ 年間平均気温 12.7℃
- ・ 年間降水量 1,271mm



郊外から望む中心市街地



阿武隈川の治水



- ① 人口ピラミッドは、糸巻型の状態（高齢化、少子化が進行中）
- ② 人口は、自然動態が微減、社会動態が微増、全体では微減傾向
- ③ 2020年の産業別人口割合は、第三次産業69%、第二次産業24%
- ④ 農家数は、2000年の7,638戸から2020年では3,611戸に減少（農業従事者の高齢化が進行中）
- ⑤ 商品販売額は、2016年で約1兆4,030億円（近隣市町村を含む商業圏の中心）
- ⑥ 製造品出荷額は、2020年で約6,321億円

郡山市は、商工業都市として発展していますが、全国の地方都市と同様に高齢化、少子化が進み、今後は人口が減少する見込みです。



① 郡山市の学校、保育所の数 2021年

| | | | | | |
|-----|----|--------|----|-----|----|
| 保育所 | 77 | 幼稚園 | 31 | 小学校 | 52 |
| 中学校 | 26 | 義務教育学校 | 2 | 高校 | 14 |
| 大学等 | 4 | | | | |

② 郡山市の病院、診療所の数 2020年

病院 22 一般診療所 223 歯科診療所 169

他市との比較

◆病床数・医療数
(人口10万人あたり)

| 都市名 | 病床数 (床) | 医師数 (人) | 歯科医師 数(人) |
|------|------------|------------|--------------|
| 郡山市 | 1,829.7 | 267.5 | 129.5 |
| いわき市 | 1,551.5 | 184.6 | 71.7 |
| 秋田市 | 1,839.6 | 408.2 | 80.2 |
| 長野市 | 1,380.0 | 257.1 | 82.7 |

(資料:2020年3月作成 中核市都市要覧)

表1

病床数、医師数、歯科医師数は、同規模の都市と比べて同等数またはそれ以上です。



●種類別道路の路線数・実延長

2021年4月1日現在

表2

| 道路種別 | 路線数 | 実延長 |
|------|-------|---------|
| | (路線) | (km) |
| 市道 | 8,983 | 3,320.5 |
| 県道 | 41 | 324.3 |
| 国道 | 4 | 96.9 |
| 高速道路 | 2 | 42.4 |
| 合計 | 9,030 | 3,784.1 |

道路実延長
合計
約3,784km

郡山市には、広い範囲に集落が分散し、道路延長距離が長いという特徴があります。



Ⅱ 郡山市のけがや事故

第5回「けがや事故に関する地域診断」より
(2022年度実施)

Ⅱ-1 病気以外の外因による死亡者数

郡山市



高齢者は「窒息」、10歳～79歳は「自殺」が第1位

表3

| 年齢層 | 1位 | | 2位 | | 3位 | | 4位 | | 5位 | | | | | |
|--------|-------|------|--------------|----------|-------|------|-------|-----|--------|-----|--------|----|--------|-----|
| 0-9歳 | 溺死・溺水 | 2人 | 煙・火・火災 他殺 | 1人 1人 | / | | / | | / | | | | | |
| 10-19歳 | 自殺 | 8人 | 交通事故 | 4人 | | | | | | | 中毒・曝露 | 2人 | 溺死・溺水 | 1人 |
| 20-29歳 | 自殺 | 41人 | 交通事故 | 7人 | 転倒・転落 | 3人 | 他殺 | 2人 | 窒息 | 1人 | 中毒・曝露 | 1人 | | |
| 30-39歳 | 自殺 | 63人 | 交通事故 | 4人 | 中毒・曝露 | 2人 | 窒息 | 1人 | 溺死・溺水 | 1人 | 煙・火・火災 | 1人 | / | |
| 40-49歳 | 自殺 | 71人 | 交通事故 | 14人 | 転倒・転落 | 3人 | 窒息 | 3人 | 溺死・溺水 | 2人 | 中毒・曝露 | 2人 | | |
| 50-59歳 | 自殺 | 69人 | 交通事故 | 16人 | 転倒・転落 | 8人 | 窒息 | 7人 | 煙・火・火災 | 5人 | / | | | |
| 60-69歳 | 自殺 | 55人 | 交通事故 | 17人 | 窒息 | 16人 | 溺死・溺水 | 14人 | 転倒・転落 | 13人 | | | | |
| 70-79歳 | 自殺 | 50人 | 窒息 | 28人 | 転倒・転落 | 25人 | 溺死・溺水 | 21人 | 交通事故 | 19人 | / | | | |
| 80-89歳 | 窒息 | 85人 | 転倒・転落 | 59人 | 溺死・溺水 | 40人 | 自殺 | 35人 | 交通事故 | 11人 | | | | |
| 90歳以上 | 窒息 | 48人 | 転倒・転落 | 34人 | 溺死・溺水 | 9人 | 自殺 | 6人 | 煙・火・火災 | 3人 | / | | | |
| 全体 | 自殺 | 398人 | 窒息 | 189人 | 転倒・転落 | 145人 | 交通事故 | 93人 | 溺死・溺水 | 93人 | | | 煙・火・火災 | 33人 |

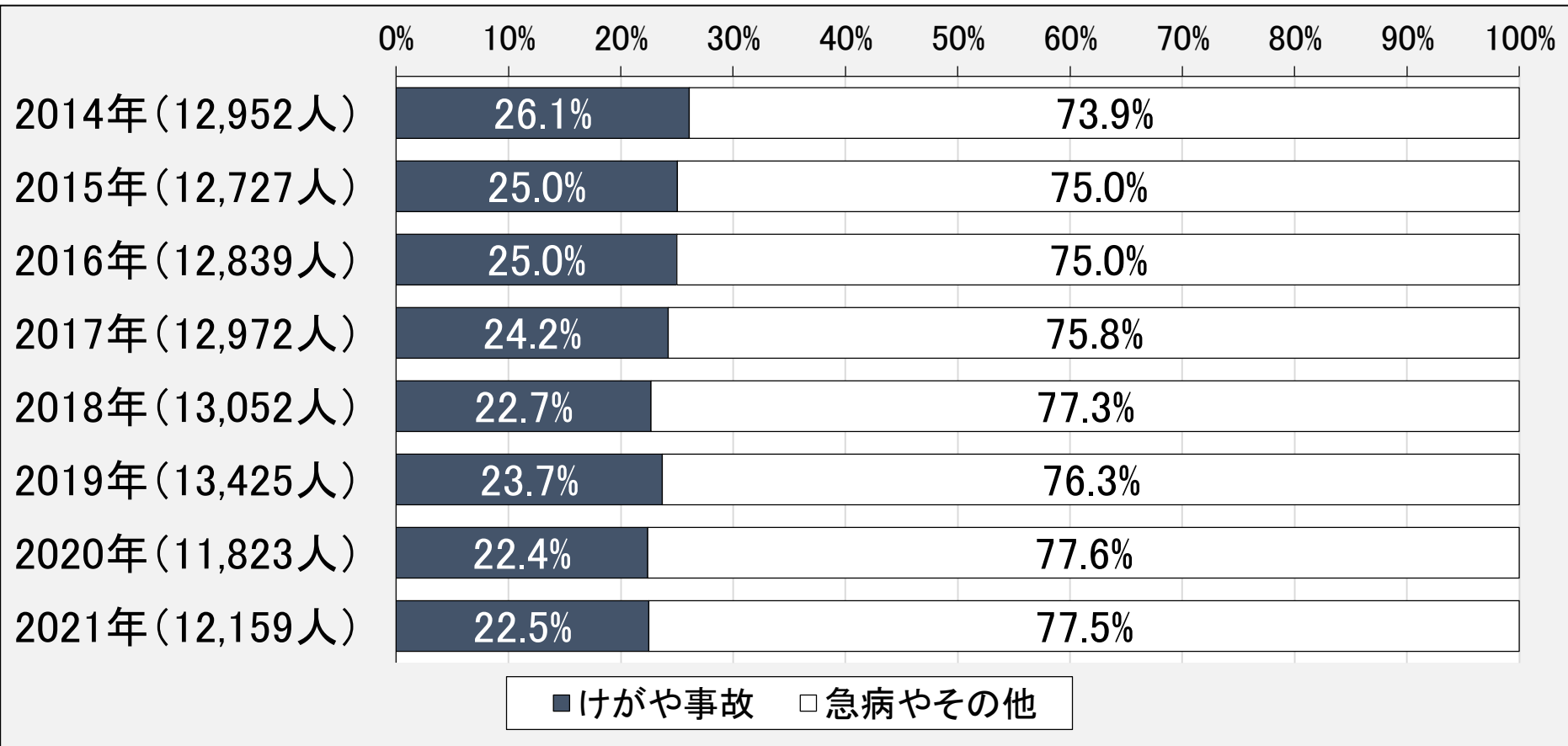
※2014～2020年の死者数を合計しています。

人口動態統計2014～2020年(死因帳票)より作成



郡山市の救急搬送に占めるけがや事故の割合の推移

図1



郡山地方広域消防組合「2014～2021年 救急搬送データ(国表)」より

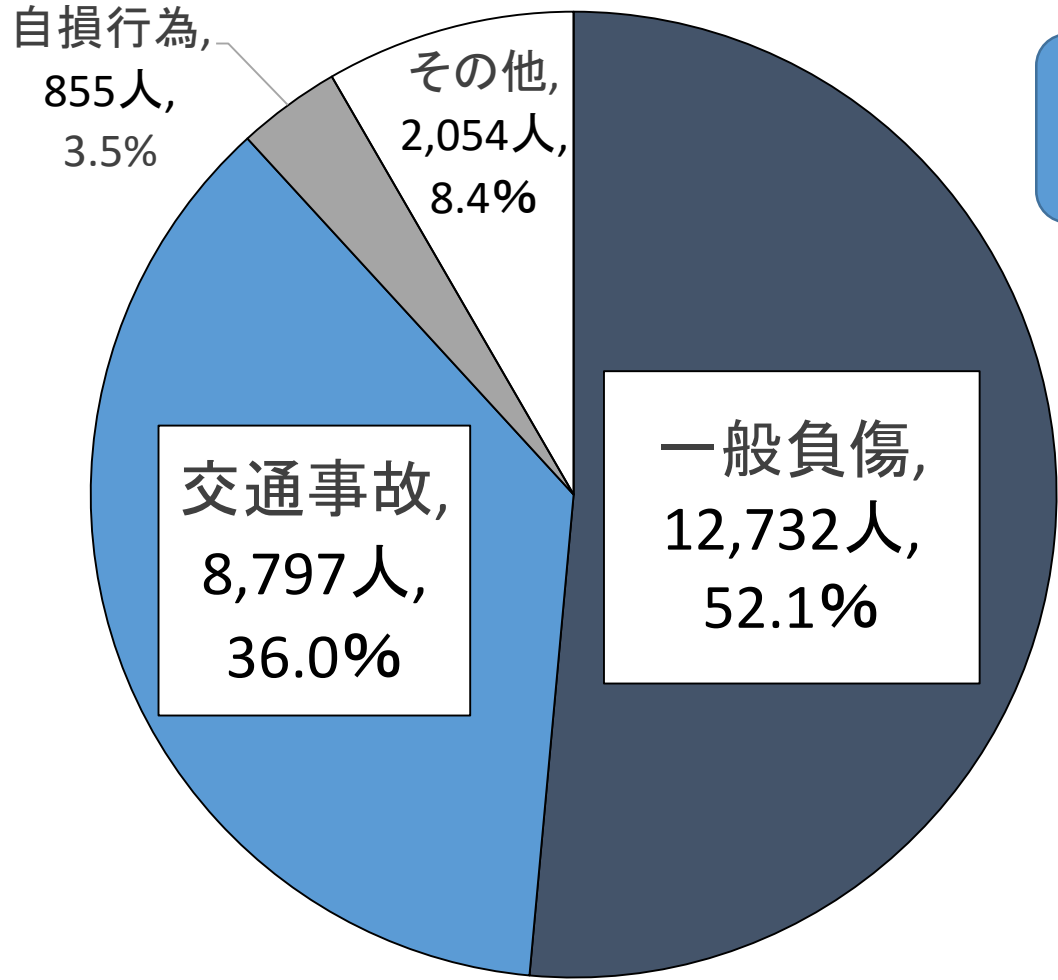
けがや事故により救急搬送された人数は、救急搬送全体の約22～23%を占める状況が続いています。



郡山市の救急搬送者数 理由別人数及び構成比

全年代の2014～2021年までの合計 n=24,438人

図2



「一般負傷」と「交通事故」の合計は、88.1%

※一般負傷とは
交通事故や加害行為、自損行為
による負傷等の他の分類に該当
しない負傷が一般負傷となります。
具体的には、転倒や転落等です。



郡山市のけがや事故による救急搬送要因の年代別順位

※2014から2021年の累計

表4

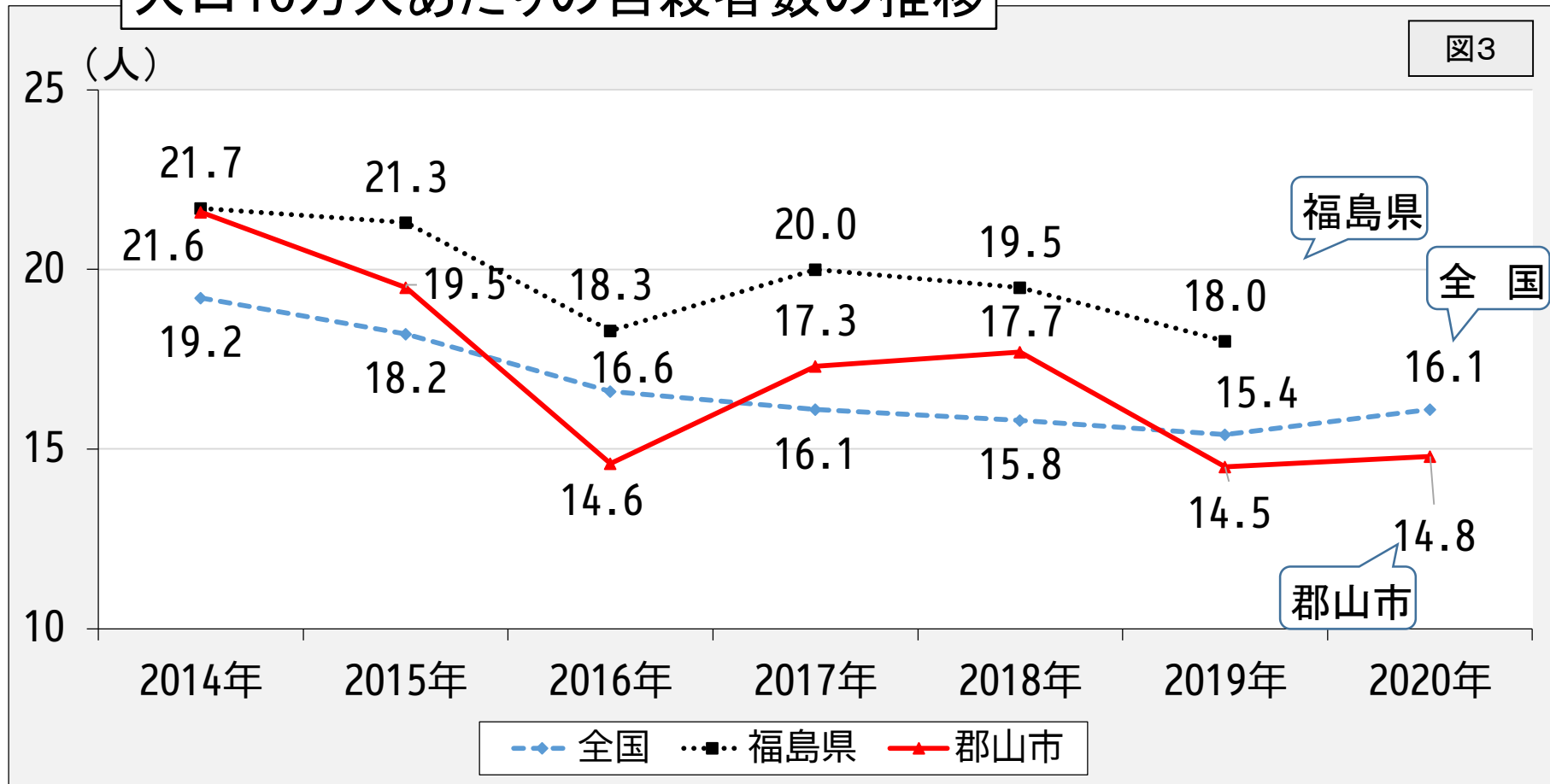
| 順位 | 新生児～乳幼児 (0～6歳) 1, 124人 | 少年 (7～17歳) 2, 063人 | 就労世代 (18～64歳) 10, 556人 | 高齢者 (65歳以上) 10, 695人 |
|----|------------------------------|--------------------------|------------------------------|----------------------------|
| 1 | 一般負傷 869人 | 交通事故 1, 007人 | 交通事故 5, 596人 | 一般負傷 8, 399人 |
| 2 | 交通事故 245人 | 運動競技 511人 | 一般負傷 2, 984人 | 交通事故 1, 941人 |
| 3 | 加害 6人 | 一般負傷 488人 | 自損行為 688人 | 自損行為 137人 |

郡山地方広域消防組合 2014～2021年 救急搬送データ(国表)より

「一般負傷」が多いのは、「乳幼児」と「高齢者」の年代で、
「交通事故」が多いのは、「少年」と「就労世代」の年代です。



人口10万人あたりの自殺者数の推移



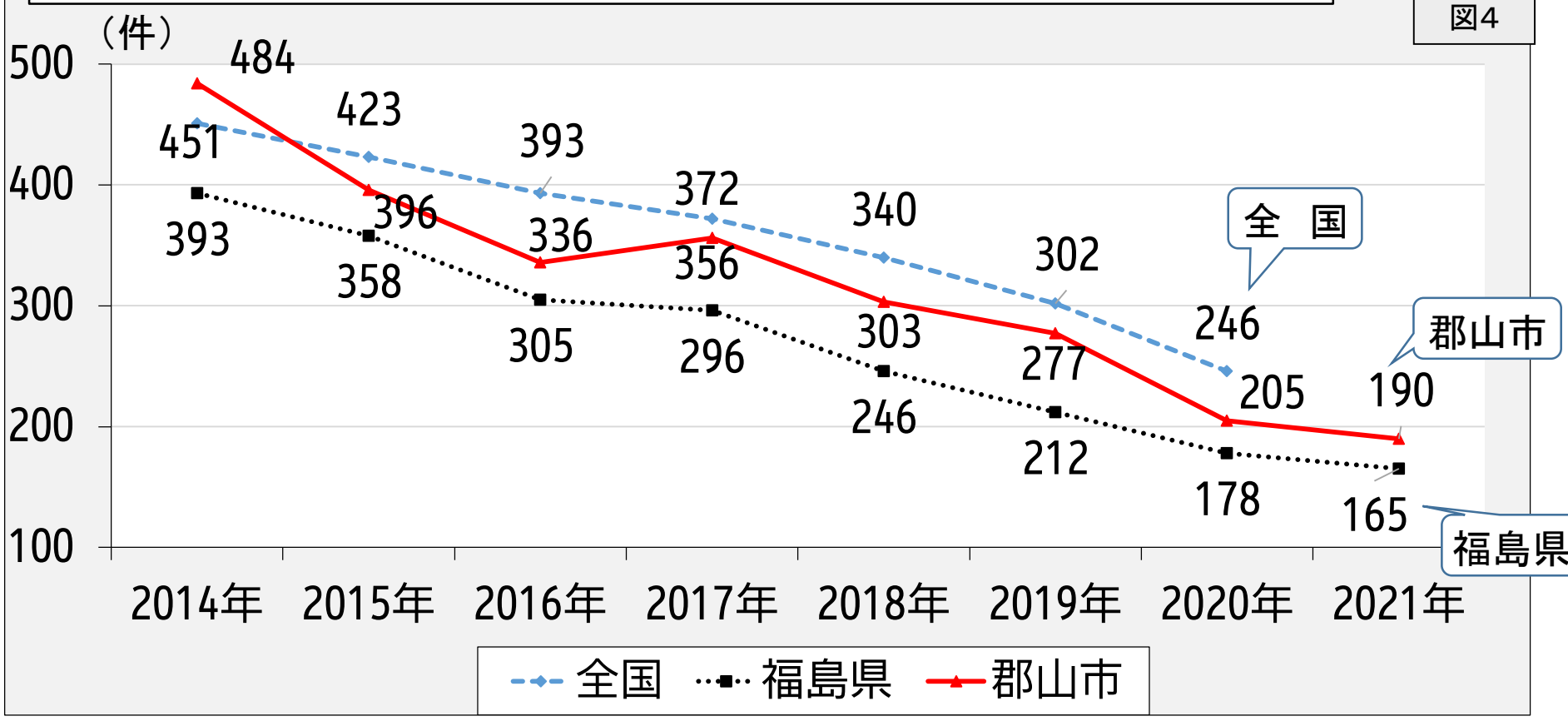
「2014～2020年 人口動態統計」より作成

2014年以降は、減少傾向にあります。2020年以降は、新型コロナウイルスの影響により、全国的に増加が予想されます。

Ⅱ-4 交通事故の発生状況①



人口10万人あたりの交通事故件数（人身事故）の推移



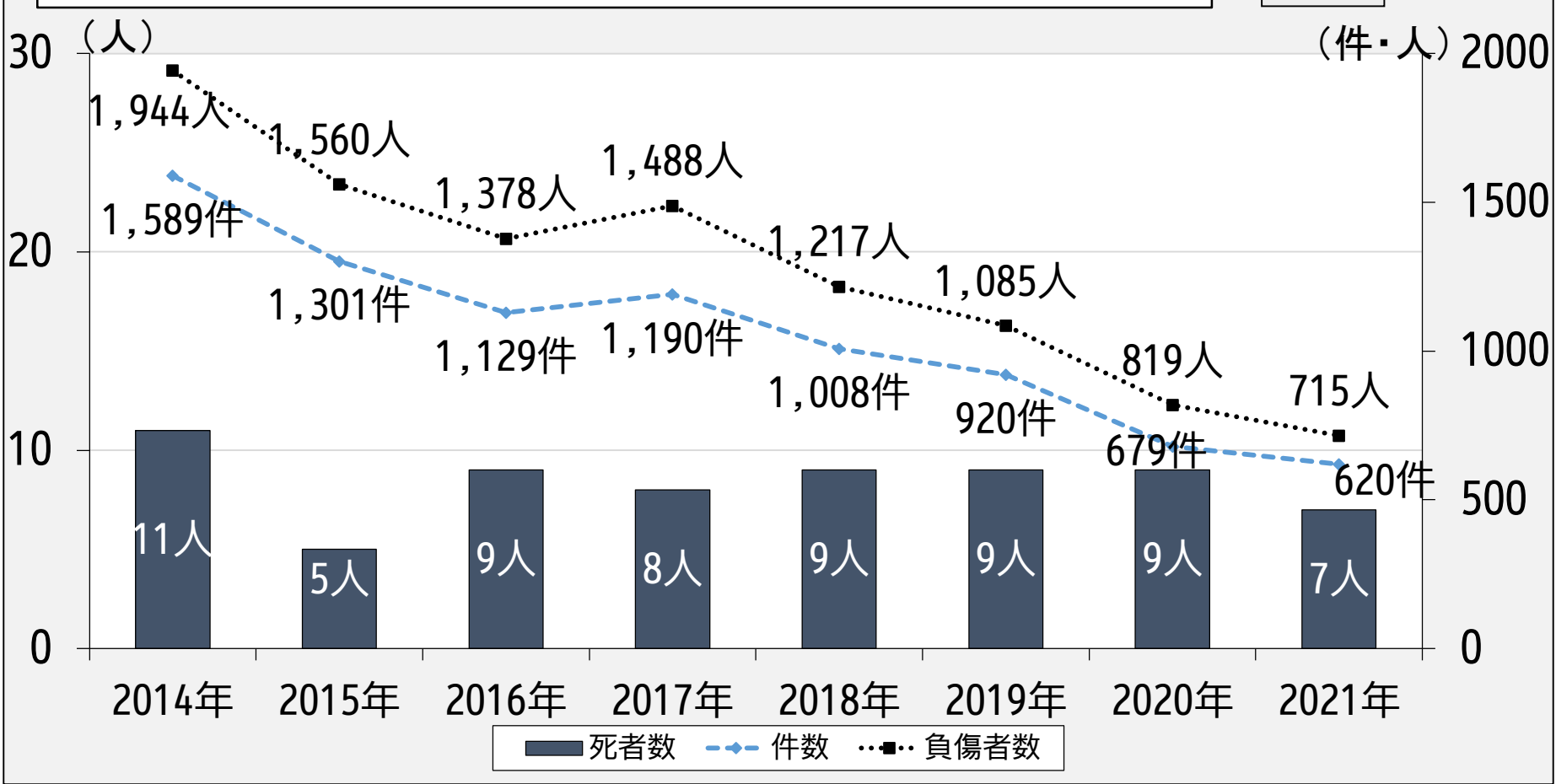
警察庁「2021年警察白書」、福島県警察本部「2015～2021年版 交通白書」「2021年交通事故のあらまし」より

郡山市は、2014年までは全国及び福島県よりも多い状況でしたが、2015年に全国を下回り、減少傾向が続いています。



郡山市の交通事故（人身事故）発生状況の推移

図5



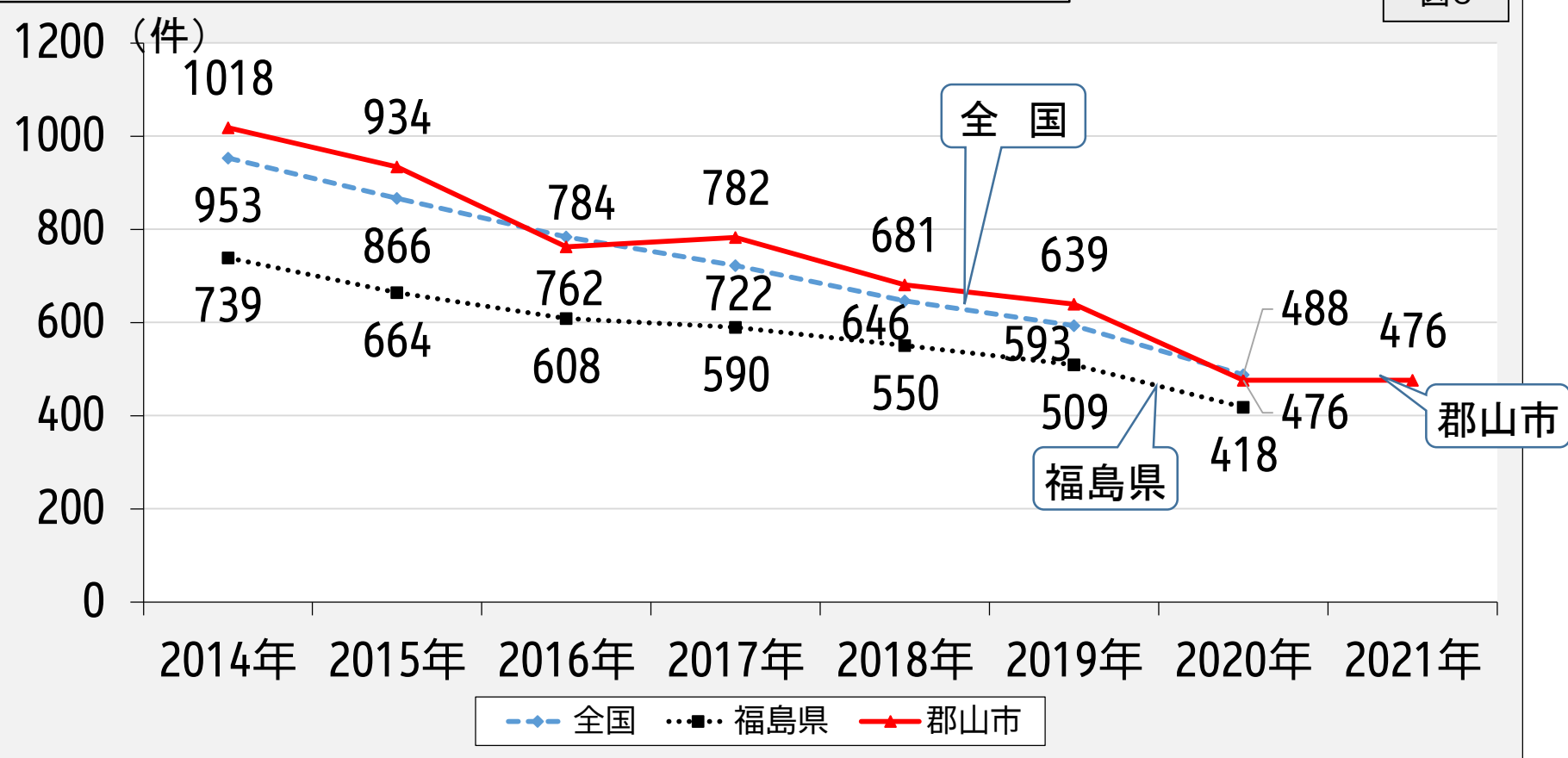
福島県警察本部「交通白書」「交通事故のあらまし」より

郡山市の交通事故は、減少傾向にあり、2014年の1,589件から2021年には620件となり、この7年間で約61%減少しています。



人口10万人あたりの刑法犯認知件数の推移

図6



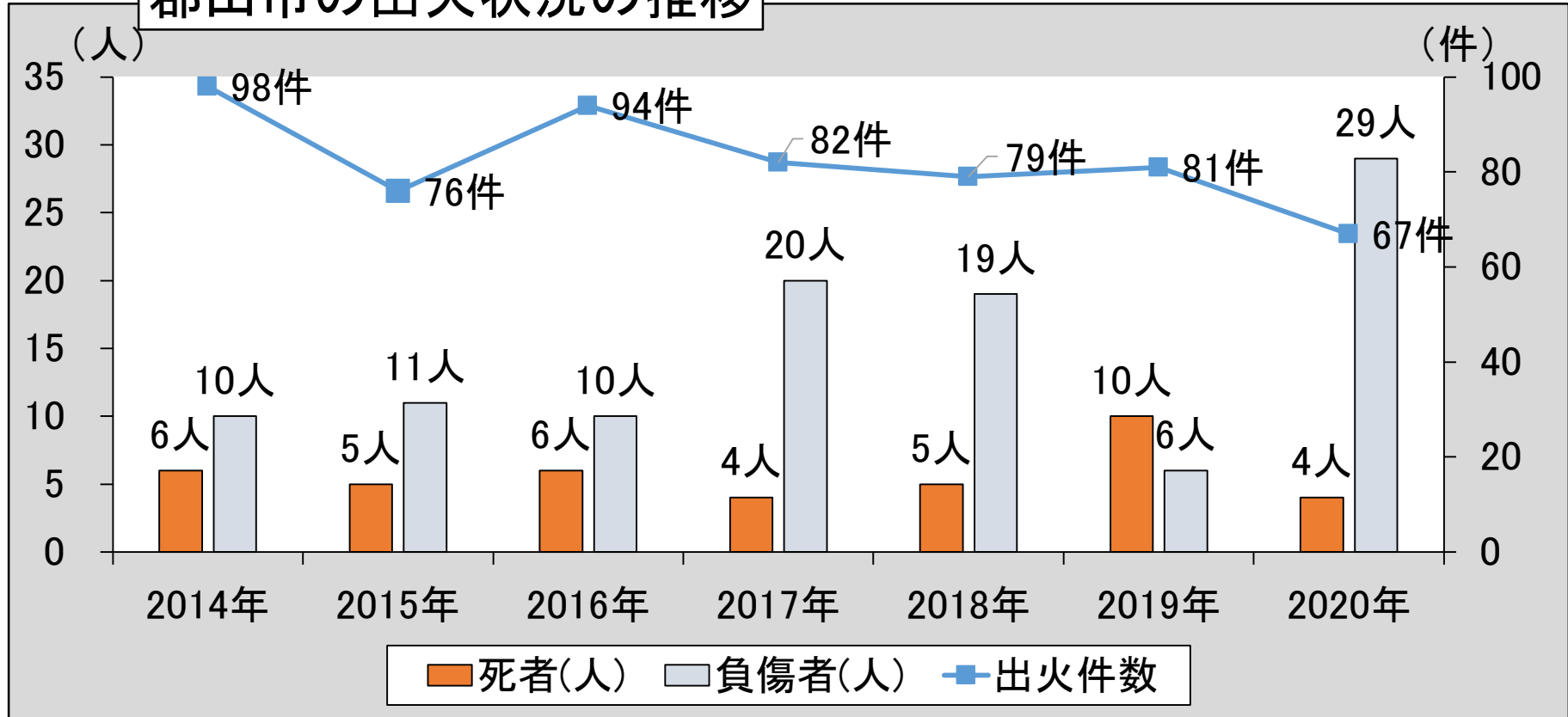
警察庁「警察白書」、郡山警察署・郡山北警察署「地域安全白書」より

郡山市の犯罪発生率は、全国とほぼ同様の傾向で減少していますが、福島県よりも多い状態が続いています。



図7

郡山市の出火状況の推移



郡山地方広域消防組合「2015～2021年(2014～2020年版) 消防年報こおりやま」より

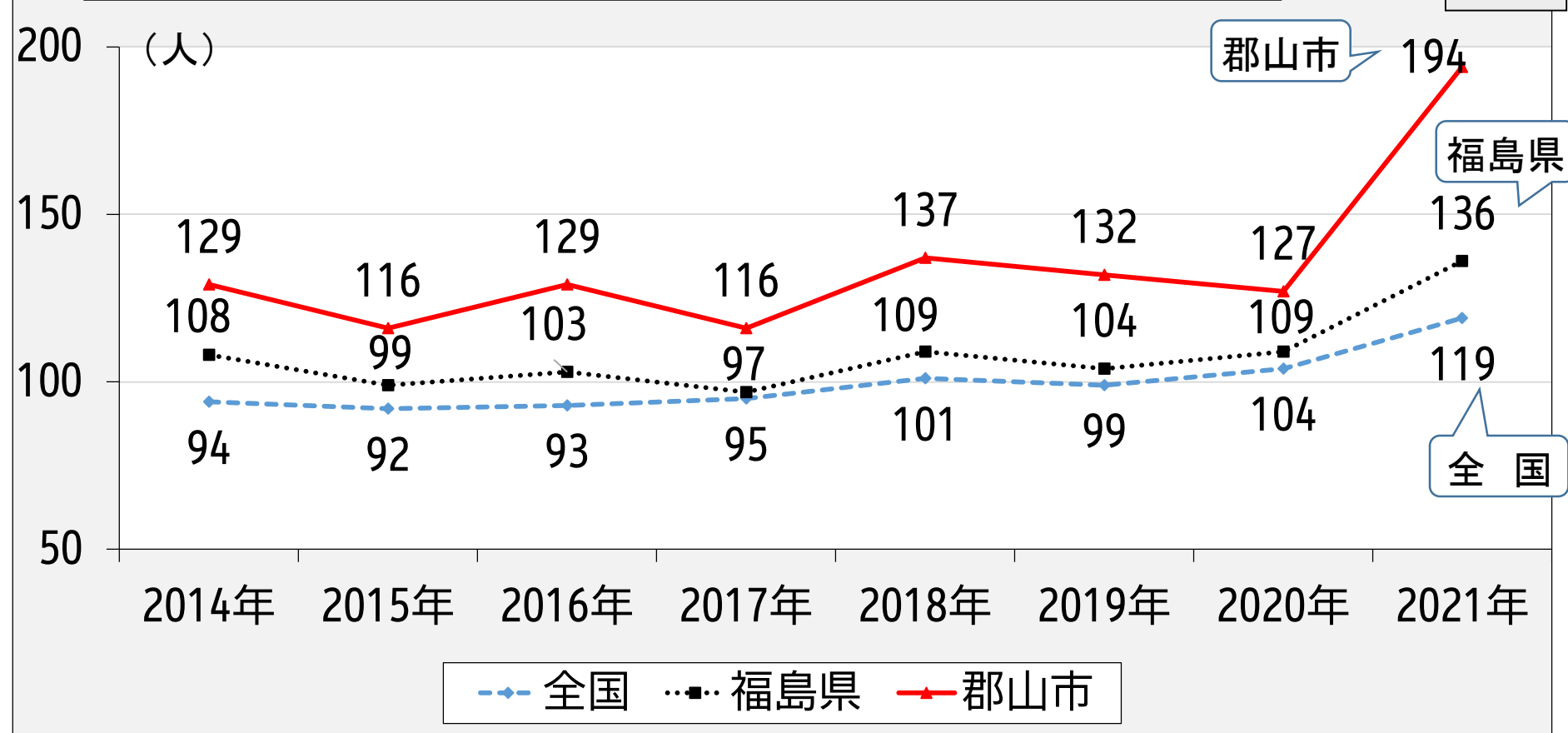
郡山市では、毎年80件前後の火災が発生しており、近年は減少傾向にあります。

火災による死数者数は、居住専用の建物火災が多かった2017年と2018年で負傷者が多くなりました。



図8

人口10万人あたりの労働災害による死傷者数推移



厚生労働省労働基準局・福島労働局・郡山労働基準監督署「2014年～2021年 労働災害発生状況」より

郡山市の労働災害による死傷者数は、全国及び福島県を上回る状況が続いています。

Ⅲ 災害の発生状況

- 東日本大震災
- 東京電力福島第一原子力発電所の事故
- 原子力災害からの回復
- 認証後(2018年以降)に発生した災害



被害状況

- 発生日時 2011年3月11日(金)14時46分
- 震源 三陸沖深さ24km
- 地震の規模 マグニチュード9.0
- 郡山市の震度 震度6弱(最大震度7:宮城県栗原市)
- 人的被害 死者1名 重傷2名 軽傷2名
- 建物や施設等の被害

表5

| | 全壊 | 半壊 | 一部損壊 | 計 |
|-----|-------|--------|--------|--------|
| 住宅 | 2,433 | 21,325 | 33,772 | 57,530 |
| 店舗等 | 325 | 1,101 | 4,695 | 6,121 |
| 計 | 2,758 | 22,426 | 38,467 | 63,651 |

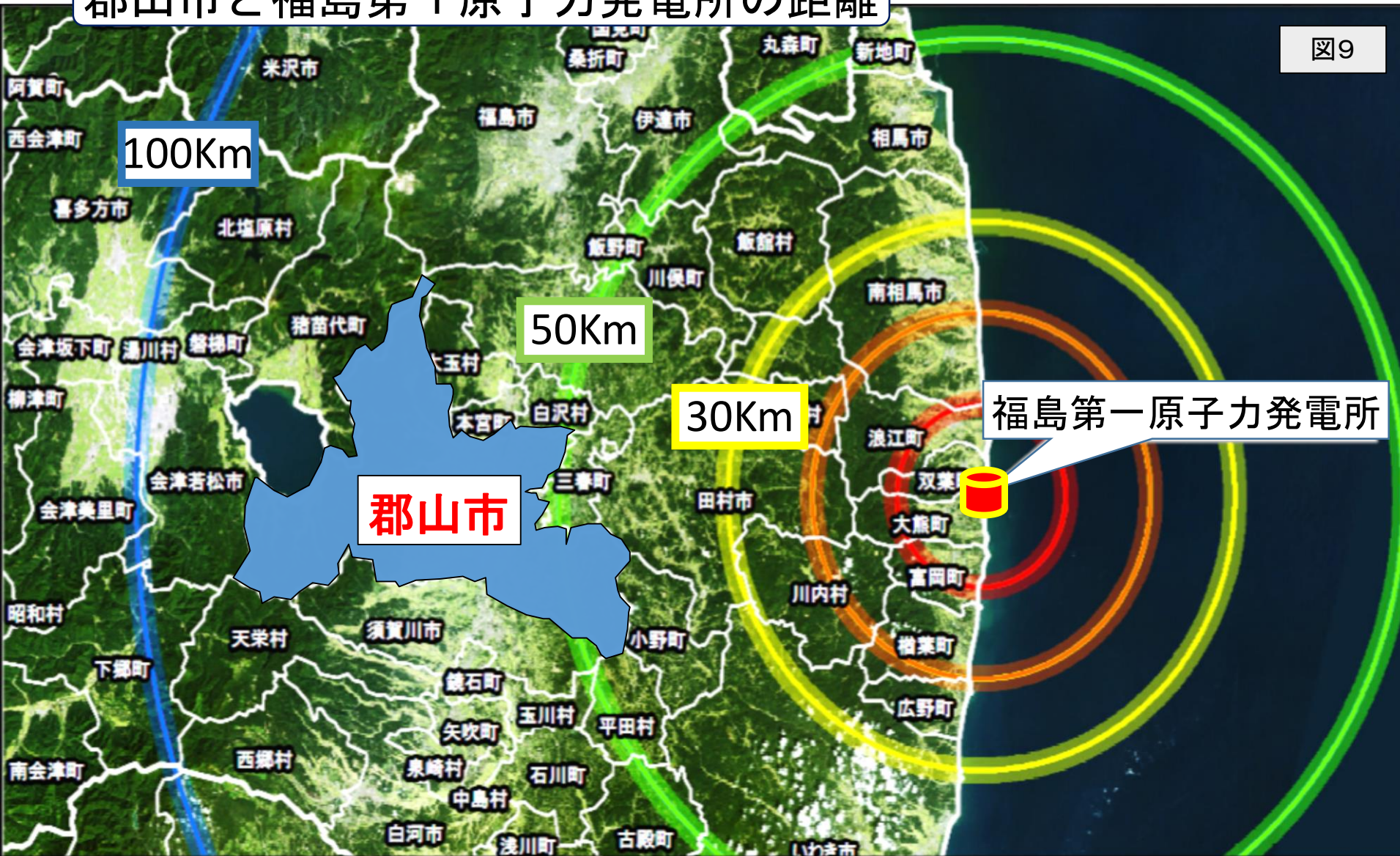
道路・橋りょう等 2,565箇所
 河川護岸の崩壊・亀裂等 40箇所
 水道施設:管路及び施設等破損 1,060箇所
 震災直後断水戸数 約37,000戸(断水人口 約97,000人)
 下水道等施設:被災管路延長 5,753m マンホール等破損 779箇所

東日本大震災は、郡山市にとっては、気象庁が観測を開始以来、初めての大規模な地震災害であり、甚大な被害をもたらしました。



郡山市と福島第1原子力発電所の距離

図9





○原発事故による市民生活への影響 ※主なもの

- ・ 事故前の数値と比較して数十倍の放射線量となった。
- ・ 放射線によって健康被害が発生する値について、科学的な定説がなく、住民は大変な不安を抱いた。
- ・ 輸送の中断により、ガソリン等の日常生活物資が欠乏した。
- ・ 子どもたちの屋外活動が制限された。
- ・ 自主的に子どもたちを避難させたことによる家族の分離

これまでに放射線による健康被害は発生していません。

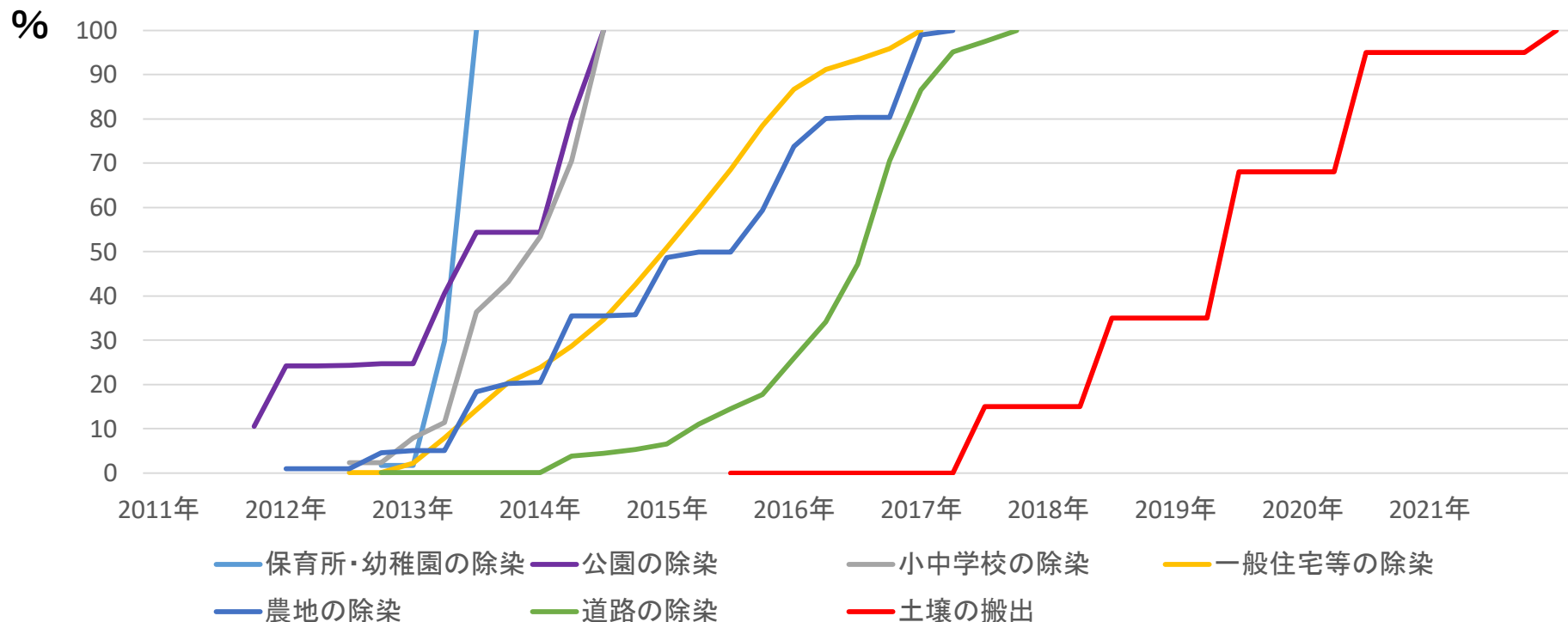
放射性物質という見えない敵と戦いながらの復興においては、国内や世界中の皆さまからの多くのご支援が、私たちを勇気づけました。



○除染と除去土壌の搬出

図10

除染・搬出の実施状況

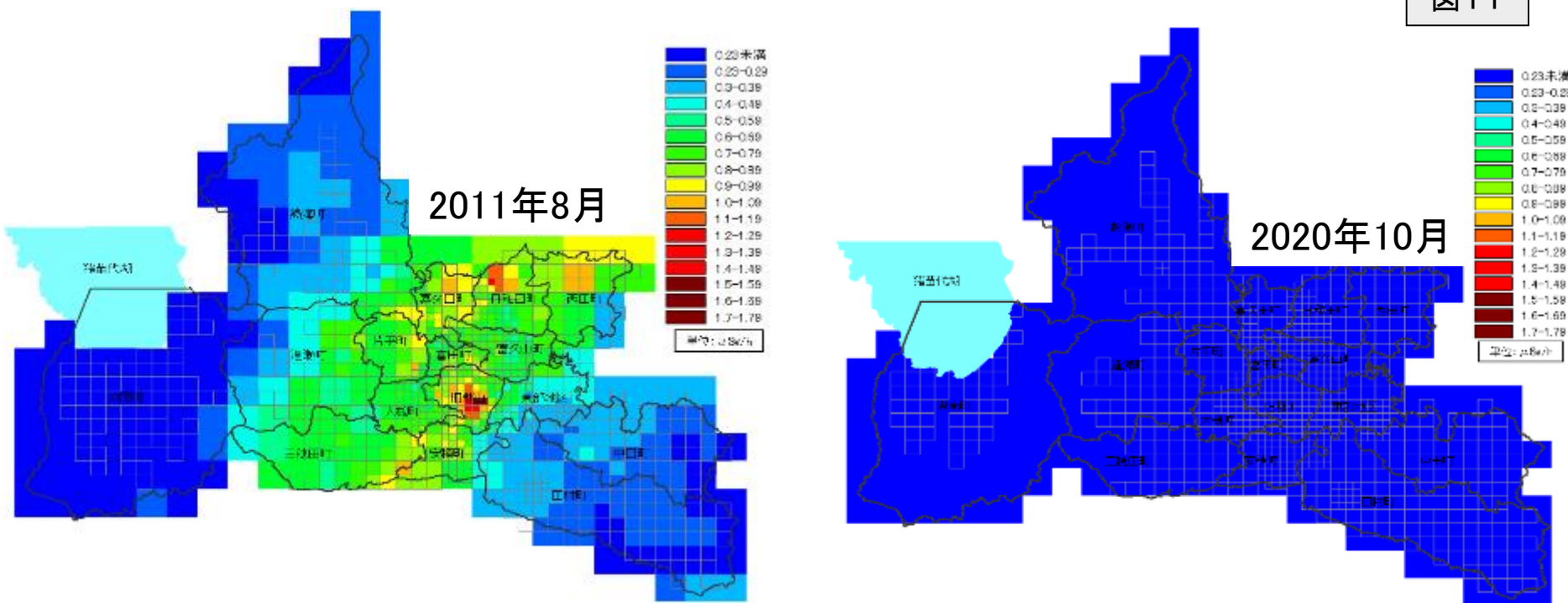


放射性物質で汚染された表土を取り除く除染は、2018年3月までに完了しました。
 除染により発生した除去土壌の中間貯蔵施設への輸送は、2022年3月までに完了しました。



○郡山市内の空間放射線量の推移

図11



郡山市の空間放射線量は、雨や風等によるウェザリング効果、放射性物質の半減期等による物理的減衰、これまで実施した除染等により、事故直後に比べ大きく低減し、現在の平均値は、 $0.1\mu\text{Sv/h}$ 程度で安定しています。

| | 2014年 | 2016年 | 2018年 | 2020年 | 2022年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 原子力災害の不安 | 65.1% | 34.8% | 30.1% | 18.1% | 15.7% |



令和元年東日本台風

2019年台風第19号は、10月12日に日本に上陸し、関東地方、甲信越地方などで記録的な大雨となり甚大な被害をもたらしました。

郡山市では、10月11日15時から13日6時までの期間降水量が195.5mmを記録し、3,973人の市民が避難しました。

被害状況

表6

| | |
|----------|----------|
| 死者 | 6人 |
| 全壊 防火水槽 | 1,306箇所 |
| 大規模半壊 | 1,921箇所 |
| 半壊 | 4,651箇所 |
| 床上浸水 | 6,542箇所 |
| 床下浸水 | 847箇所 |
| 工業・商業損害額 | 361億9千万円 |
| 農作物等被害 | 30億663万円 |





令和3年福島県沖地震

2021年2月13日深夜に、東日本大震災以来の大きな地震が発生しました。

- 発生日時 2020年2月13日(土)23時07分
- 震源 福島県沖深さ55km
- 地震の規模 マグニチュード7.3
- 郡山市の震度 震度6弱(最大震度6強:宮城県蔵王町等)
- 負傷者 13名

表7

| 住家被害 | |
|-------|--------|
| 全壊 | 10棟 |
| 大規模半壊 | 17棟 |
| 中規模半壊 | 77棟 |
| 半壊 | 292棟 |
| 一部損壊 | 4,285棟 |
| 水道断水 | 50戸 |



壁が崩れた郡山市中央図書館



IV セーフコミュニティ活動



郡山市の大きな課題

- ① 東日本大震災からの復興、風評被害の払拭
- ② 全国や福島県より多い交通事故、犯罪、自殺等
- ③ 超高齢社会への対応

日本国内のセーフコミュニティ推進自治体の活動に着目し、セーフコミュニティ活動は、震災からの復興に全力を挙げている私たちにも必要な手法であると判断しました。

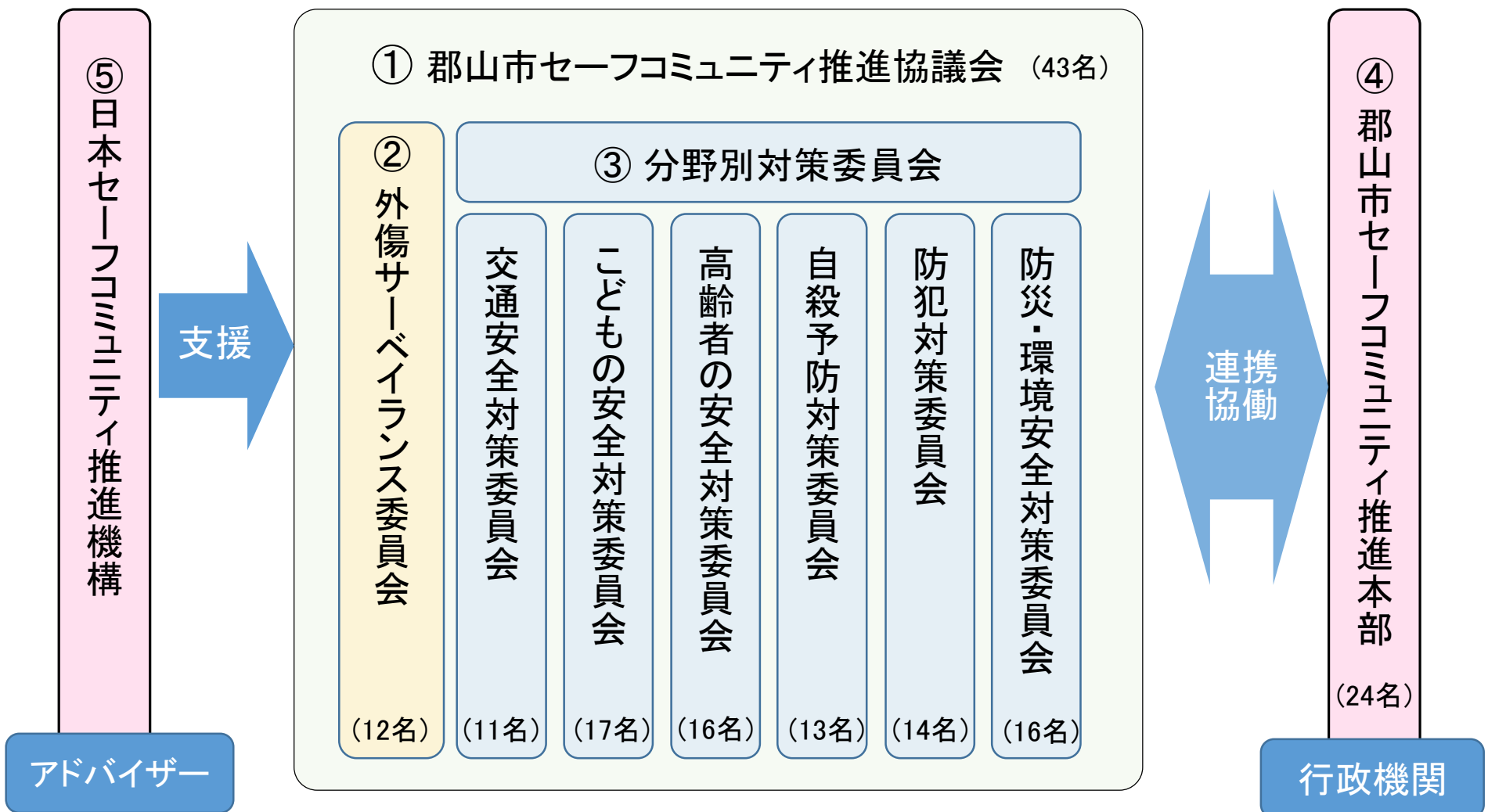
2014年11月4日 セーフコミュニティ活動に取り組むことを
品川 万里 郡山市長が宣言

2018年2月2日 セーフコミュニティ国際認証取得



指標1 横断的な組織による協働・連携

図12





(分野の垣根を越えた全市的なS C推進母体)

設立日 2015/5/26

会員数 43団体、機関（代表者）会長は市長

構成 市民活動団体、住民自治組織、教育団体、事業組合、行政、警察等

役割 方針決定、活動の推進、啓発など

図13





(データ収集、分析、検証を行う専門部会)

設置日 2015/5/26

委員数 12人

構成 医師、大学教授（工学部）、保健所、警察、消防、労働等
役割 けがや事故に関するデータ等の収集、分析、提供
セーフコミュニティ活動の検証 など



各分野の対策委員会からの中間報告



対策の根拠となるデータの検討等



(各分野の課題解決を図る専門部会)

設置日 2015/7/8

| | | | |
|---------------|-----|----------------|-----|
| A 交通安全対策委員会 | 12人 | D 自殺予防対策委員会 | 11人 |
| B こどもの安全対策委員会 | 15人 | E 防犯対策委員会 | 15人 |
| C 高齢者の安全対策委員会 | 16人 | F 防災・環境安全対策委員会 | 14人 |



対策委員会合同ワークショップ



IV-4 既存の取り組みをセーフコミュニティ活動に活かす 郡山市



指標2 全ての市民・市域・環境・状況を対象とした長期的・継続的な取組

表8

| 分野 | こども (0～14歳) | 青年 (15～24歳) | 成人 (25～64歳) | 高齢者 (65歳～) |
|-------|-------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------|---------------|
| 家庭 | 育児講座 育児支援家庭訪問 | 地域防災訓練 | 生活習慣改善指導 | 介護予防体操 |
| 学校 | 避難訓練 通学路見回り点検 | | 救命救急講習 | |
| 職場 | 育児休暇等の支援 | 労働相談 メンタルヘルス対策 避難訓練 救命救急講習 | | |
| 交通 | 街頭指導 交通安全教室 | 運転免許更新時講習 交通違反の取り締まり、指導 交通安全教室 ラジオ等での安全運転呼びかけ | | |
| 公共 | 法令の改正、道路環境整備、維持管理 バリアフリー化(段差解消) 建物の耐震化 | | 交通規制 信号機設置 AEDの設置及び講習会の開催 | |
| 自殺 | こころの健康相談 引きこもり支援 | ゲートキーパー養成講座 こころの健康相談 | | |
| 暴力・虐待 | 関係機関の連携と情報共有 | | 電話、窓口相談 | |
| 犯罪 | 犯罪者の検挙 防犯パトロール | | 防犯設備の普及啓発 | |



指標3 リスクの高い集団・環境への取組

活動の例

郡山市の人口1万人あたりの刑法犯認知件数 2015年 → 2021年 13地区別の比較

図14

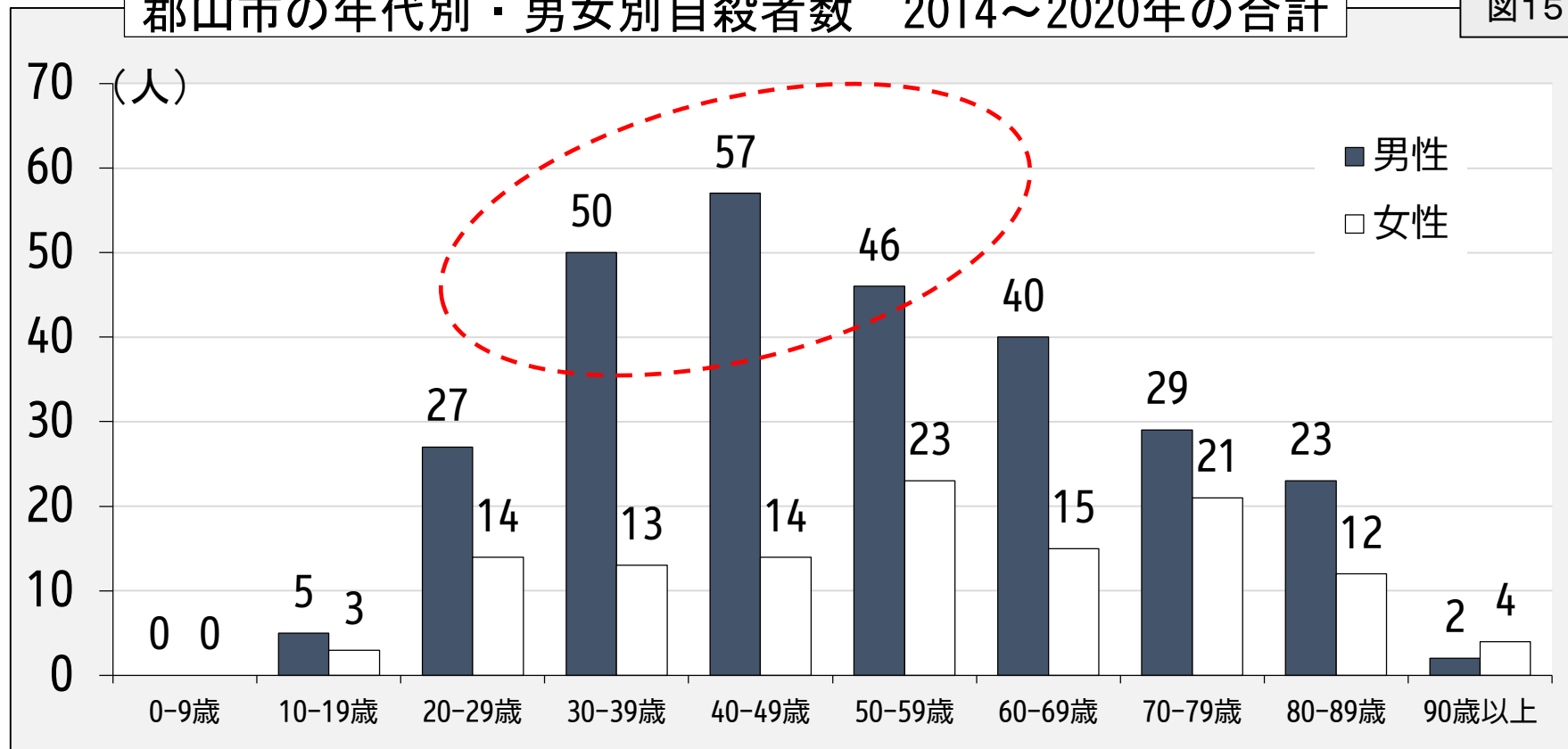




指標4 根拠に基づいた取組

郡山市の年代別・男女別自殺者数 2014～2020年の合計

図15



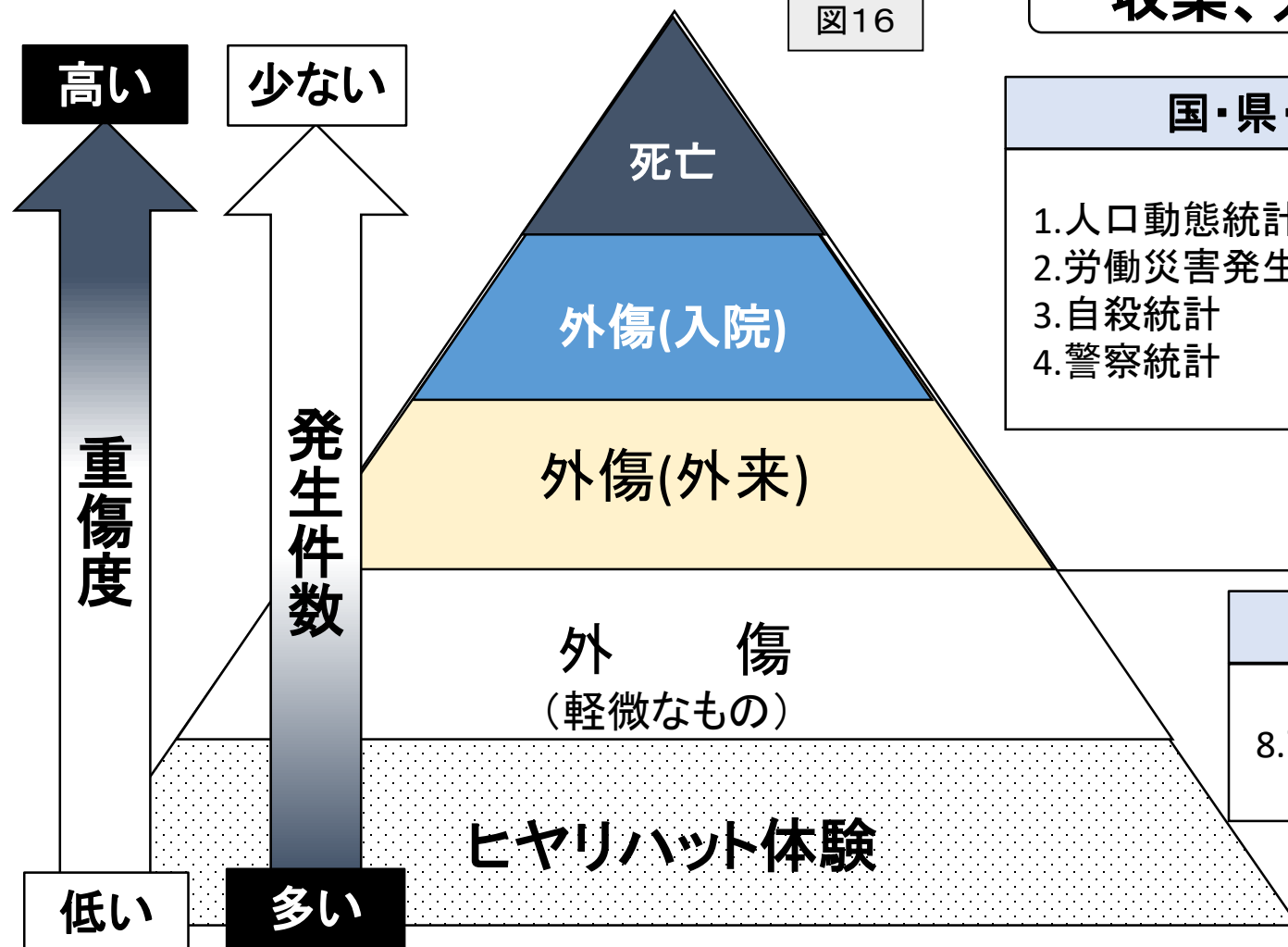
「2014年～2020年 人口動態統計（死因帳票）」より作成

30歳代から50歳代の男性に自殺者が多い。
自殺予防対策委員会において重点課題の一つとした。



指標5 外傷の頻度原因を記録する仕組み

図16



収集、分析するデータ

| 国・県・市の統計データ | |
|-------------|------------|
| 1.人口動態統計 | 5.交通白書 |
| 2.労働災害発生状況 | 6.地域安全白書 |
| 3.自殺統計 | 7.救急搬送データ等 |
| 4.警察統計 | |

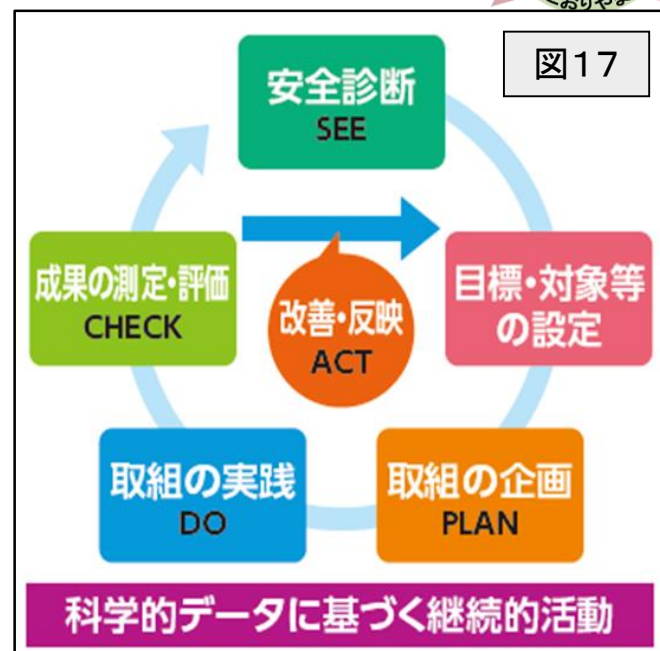
| アンケート調査 |
|-----------------|
| 8.市民意識調査(アンケート) |



指標6 内容・行程・効果を評価する仕組

各分野の対策委員会では、PDCAサイクルによる活動の成果測定と評価、改善と反映を行っています。

取組の効果を測定するため、短期・中期・長期の指標を設定し、評価を行っています。



活動の成果測定、評価指標の例(交通安全対策委員会)

表9

| 重点課題 | 取組 | 活動指標 | 成果指標 | | |
|--------------|------------------------------|------|-------------------------------------|---------------|-------------|
| | | | 短期 | 中期 | 長期 |
| 高校生の自転車事故が多い | 交通事故多発地点マップやチラシの作成・配布と街頭啓発活動 | 配付枚数 | 高校生の事故多発地点の認知度 高校生の自転車事故の危険性の認知度 | 高校生の交通安全意識の変化 | 高校生の自転車事故件数 |



指標7 国内外へのセーフコミュニティネットワークへの継続的参加

2018年

- ・現地審査（横浜市栄区、亀岡市、久留米市、松原市）
- ・事前指導（十和田市）
- ・認証式典（横浜市栄区、亀岡市、久留米市、松原市）
- ・第9回アジア地域セーフコミュニティ会議厚木大会

2019年

- ・現地審査（さいたま市、十和田市）
- ・事前指導（秩父市、厚木市）
- ・認証式典（さいたま市）

2020年

- ・現地審査（オンライン：鹿児島市）
- ・事前指導（オンライン：都留市）
- ・セーフコミュニティオンラインセミナー（タイ・ナーン市）

2021年

- ・現地審査（オンライン：都留市、厚木市、秩父市）
- ・事前指導（オンライン：豊島区）
- ・認証式典（オンライン：鹿児島市、都留市、厚木市、秩父市）

2022年

- ・現地審査（オンライン：豊島区）
- ・事前指導（オンライン：松原市）



郡山市長講演(アジア会議)



V 認証後の成果

V-1 対策委員会で取り組んでいる重点課題の状況 郡山市



※認証時と直近のデータ比較(人口10万人あたり)

図18

自殺予防

【30代から50代の自殺者数】

2017年

2020年

24人

16人

【自殺の相談窓口を知らない人の割合】

2016年

2022年

64.9%

30.3%

高齢の安全

【転倒・転落で死亡した高齢者】

2017年

2020年

18人

25人

【不慮の窒息で死亡した高齢者】

2017年

2020年

34人

23人

防災・環境

【風水害への不安】

2016年

2022年

21.6%

30.4%

【地域の防災活動に参加したことがない人】

2018年

2022年

75.3%

77.1%

V-1 対策委員会で取り組んでいる重点課題の状況 郡山市

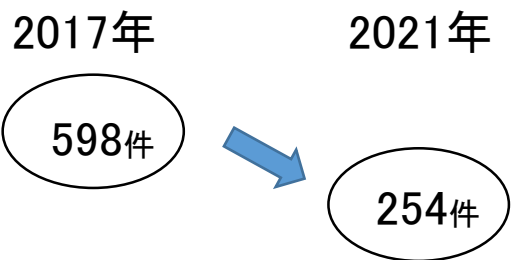


※認証時と直近のデータ比較(人口10万人あたり)

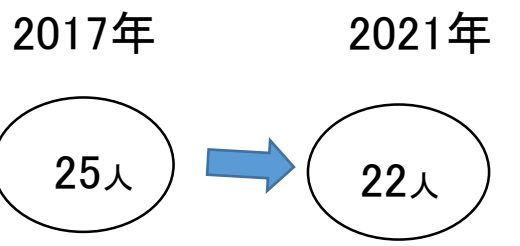
図18

交通安全

【高校生の自転車事故件数】

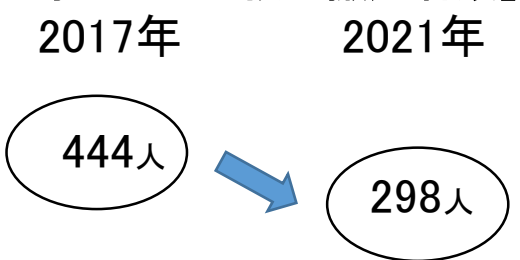


【交通事故による高齢者の死亡・重症者数】

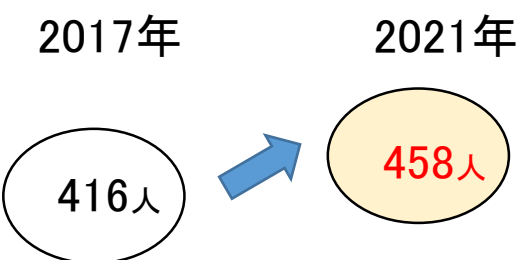


こどもの安全

【小学生～高校生の交通事故による救急搬送者数】

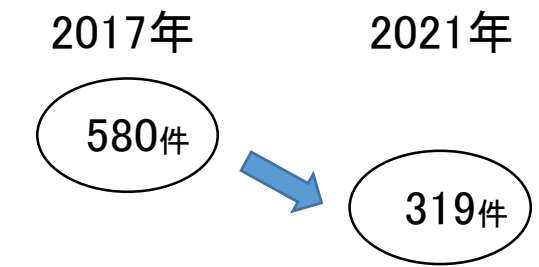


【乳幼児の住宅における救急搬送者数】

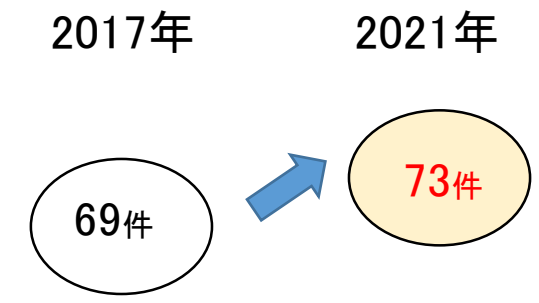


防犯

【窃盗犯の件数】



【配偶者によるDV相談件数】





①地区・地域におけるSC説明会の開催

2018年から2021年までに
出前講座等の事業説明会
316回

SC活動参加者延べ人数
88,398人



各地域では、町内会等の連
合会など**25団体**がセーフコ
ミュニティの理念に則り、活
動を実施

②SC活動推進事業所との連携

2019年からセーフコミュニ
ティに取り組む企業や団体
の活動を郡山市がウェブ
サイトや広報紙でPR

登録事業所 **49団体**



③セーフコミュニティ賞

2019年から地域の優れた
セーフコミュニティ活動を実
施している企業や団体を
郡山市が表彰

| | |
|-------|------|
| 2019年 | 18団体 |
| 2020年 | 18団体 |
| 2021年 | 18団体 |





「見える化」したデータやパンフレットを市のウェブサイトで周知
市庁舎にセーフコミュニティコーナーを設置し、注意喚起動画放映
市の広報紙や年4回発行の「セーフコミュニティ通信」、SNSを活用



市庁舎のセーフコミュニティコーナー

みんなで作る安全・安心なまち セーフコミュニティの利便性

セーフコミュニティ通信 第26号

2021(令和3)年9月発行

セーフコミュニティ推進課 2018.2.7 国際認証取得

9月は自殺対策強化月間です - 自殺予防対策委員会 -

シリーズの
～データからごおりやまをみてみよう～
 ✓ 自殺に関するデータ
 ✓ 自殺予防対策委員会の取り組み

郡山市において、1層ぐりになっていく方がだんだん少なくなっているか知っていますか？
 実は、1層ぐりから0層までの間に、1層ぐりになるよりも、0層以下の危険な状態に陥る方が増えています。
 郡山市では今年約50～70人の人が自殺で亡くなっており、深刻な状態となっています。
 自殺対策、福祉・生活支援、生活困窮、生活保護、介護、育児、人材育成の強化、受付け体制整備、生涯学習など、様々な社会課題があり、自殺はそれらの課題が連鎖することによって起ります。「自殺はそれのついでに起きた結果」であり、その多くは対策が立てられ、防ぐことができる状態が言われています。

| 年齢層 | 1層 | 2層 | 3層 |
|--------|---------|----------|------------|
| 10～19歳 | 自殺 7人 | 交通事故 4人 | 中 2人 |
| 20～29歳 | 自殺 36人 | 交通事故 7人 | 交通事故以外 2人 |
| 30～39歳 | 自殺 55人 | 交通事故 4人 | 中 2人 |
| 40～49歳 | 自殺 65人 | 交通事故 18人 | 交通事故以外 2人 |
| 50～59歳 | 自殺 51人 | 交通事故 14人 | 中 2人 |
| 60～69歳 | 自殺 42人 | 交通事故 18人 | 中 1人 |
| 70～79歳 | 自殺 42人 | 中 27人 | 交通事故 2人 |
| 80～89歳 | 中 22人 | 交通事故 52人 | 交通事故以外 42人 |
| 90歳以上 | 中 28人 | 交通事故 7人 | 交通事故以外 12人 |
| 合計 | 自殺 349人 | 中 68人 | 交通事故 123人 |

一人ひとりができること
「ゲートキーパーになろう！」
 【ゲートキーパー】とは、身近にいる「トコナリ」に「気づき」「気づかせる」「気づかせる」必要に応じて「つなげ」「見守る」ことができる人のことです。いわば「心の門番」とも位置づけられる人のことです。
 ゲートキーパーになるためには、特別訓練は必要ありません。家族・関係者・友人とのかかわりの大切さを、ゲートキーパーとして行なうことが大切です。
 学校や会社、子育て、高齢者の様子がいづれと違っても同じように、「どうしたら？」と心がかかるところが、ゲートキーパーの役割です。
 私たち一人ひとりの取り組みで、かけがえのない命を救えますか？

自殺予防対策委員会の取り組み
 ・自殺予防キャンペーン
 日時 令和3年9月8日(日)
 場所 市庁舎1階(約300名)
 内容 自殺予防啓発活動
 ・パネル展示
 日時 令和3年9月8日(日)～9日(月)
 場所 市庁舎1階(約300名)
 内容 自殺予防啓発活動
 ・ゲートキーパー養成講座
 定期開催予定
 内容は、家族・関係者へお話し合いの場です。
 tel 924-2163

セーフコミュニティとは？

19:19

みんなで作る安全・安心なまち セーフコミュニティの利便性

セーフコミュニティごおりやま

@sc_koriyama

みんなで作る安全・安心なまち セーフコミュニティごおりやま

郡山市 | city.koriyama.lg.jp/bosai_bohan_sa...

2019年9月からTwitterを利用してます

25 フォロワー中 89 フォロワー

フォローしている人にフォローはいません

ツイート ツイートと返信 メディア いいね

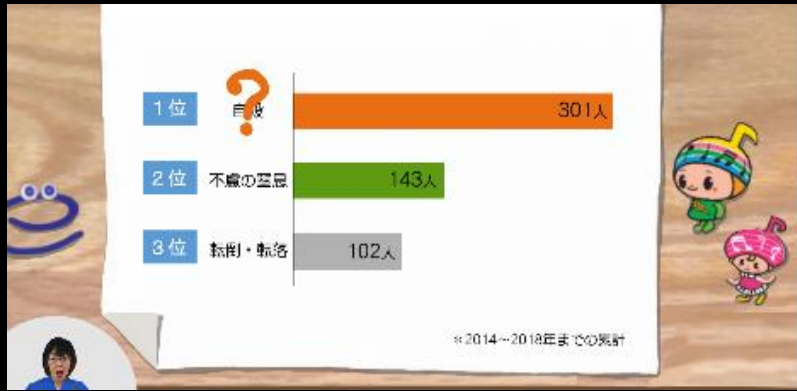
固定されたツイート

セーフコミュニティご... 2019/09/04 ...

こんにちは、セーフコミュニティ課です。郡山市は2018年2月2日に国際認証を取得し、みんなで作る安全安心なまち「セーフコミュニティごおりやま」に取り組んでいます。



動画配信を中心としたデジタル化による普及啓発
具体的な活動方法の説明により、啓発から活動支援にシフト





2018年2月2日のセーフコミュニティ国際認証取得を記念し、毎年2月に市民参加のセーフコミュニティフェスタを開催

2021年の第3回、2022年の第4回は、新型コロナウイルスの感染拡大のため、ウェブサイトから動画で発表などを行うデジタル開催に変更





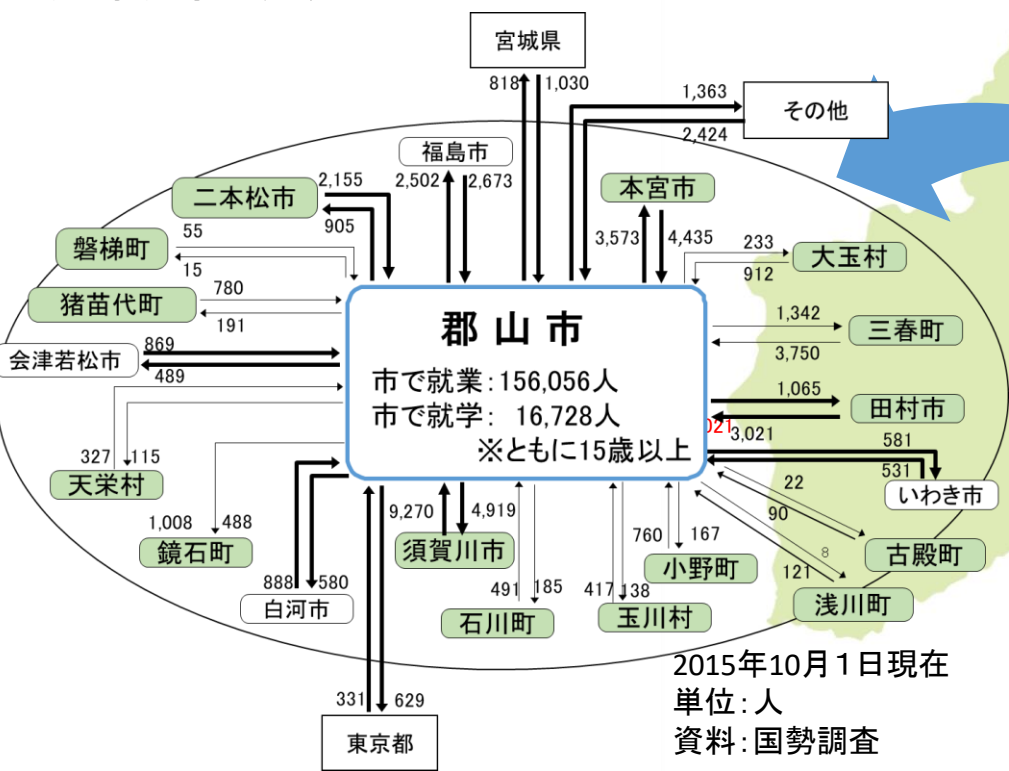
国の政策に則り、2019年から郡山市を中心とする17市町村が連携して「こおりやま広域圏」を形成し、広域的に学び、働き、暮らし続けることができる圏域づくりを開始

セーフコミュニティの情報は、広域圏市町村にも情報提供

「広め合う、高め合う、助け合う」～持続可能な圏域の創生～

図19

●通勤・通学の流動状況



こおりやま広域圏

2015年10月1日現在
 単位:人
 資料:国勢調査



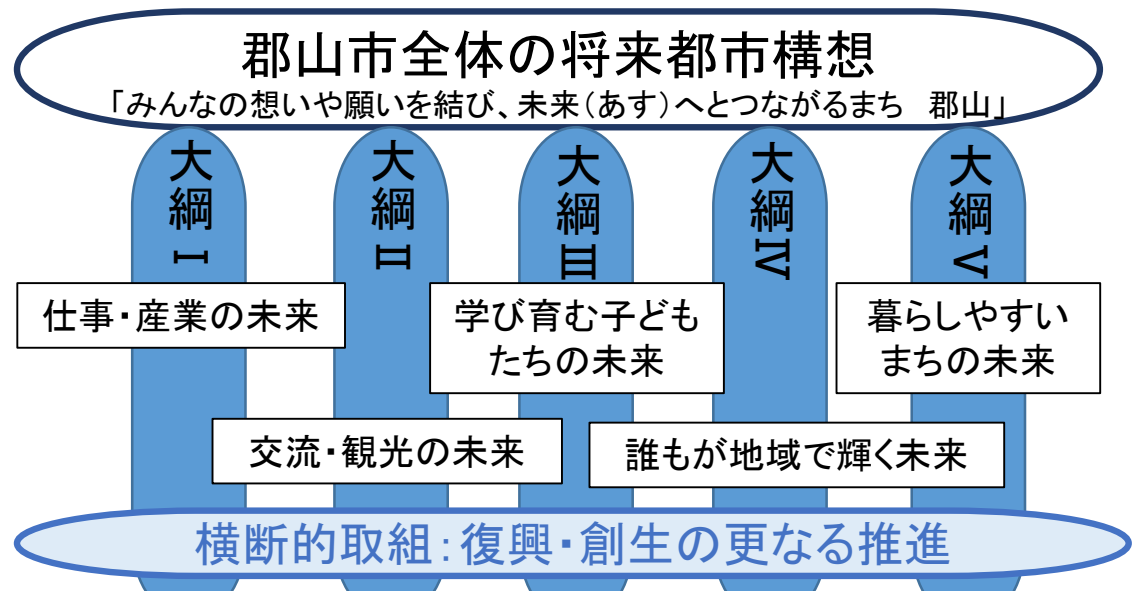
VI 長期的なプログラム



郡山市の総合計画である「郡山市まちづくり基本指針」において、セーフコミュニティは、基盤的取組として位置づけ
 2018年からは、各部局のセーフコミュニティ関連事業(2022年90事業)の情報を共有し、データを基に部局横断的な相互連携により事業を推進

【郡山市まちづくり基本指針施策体系全体像】

図20



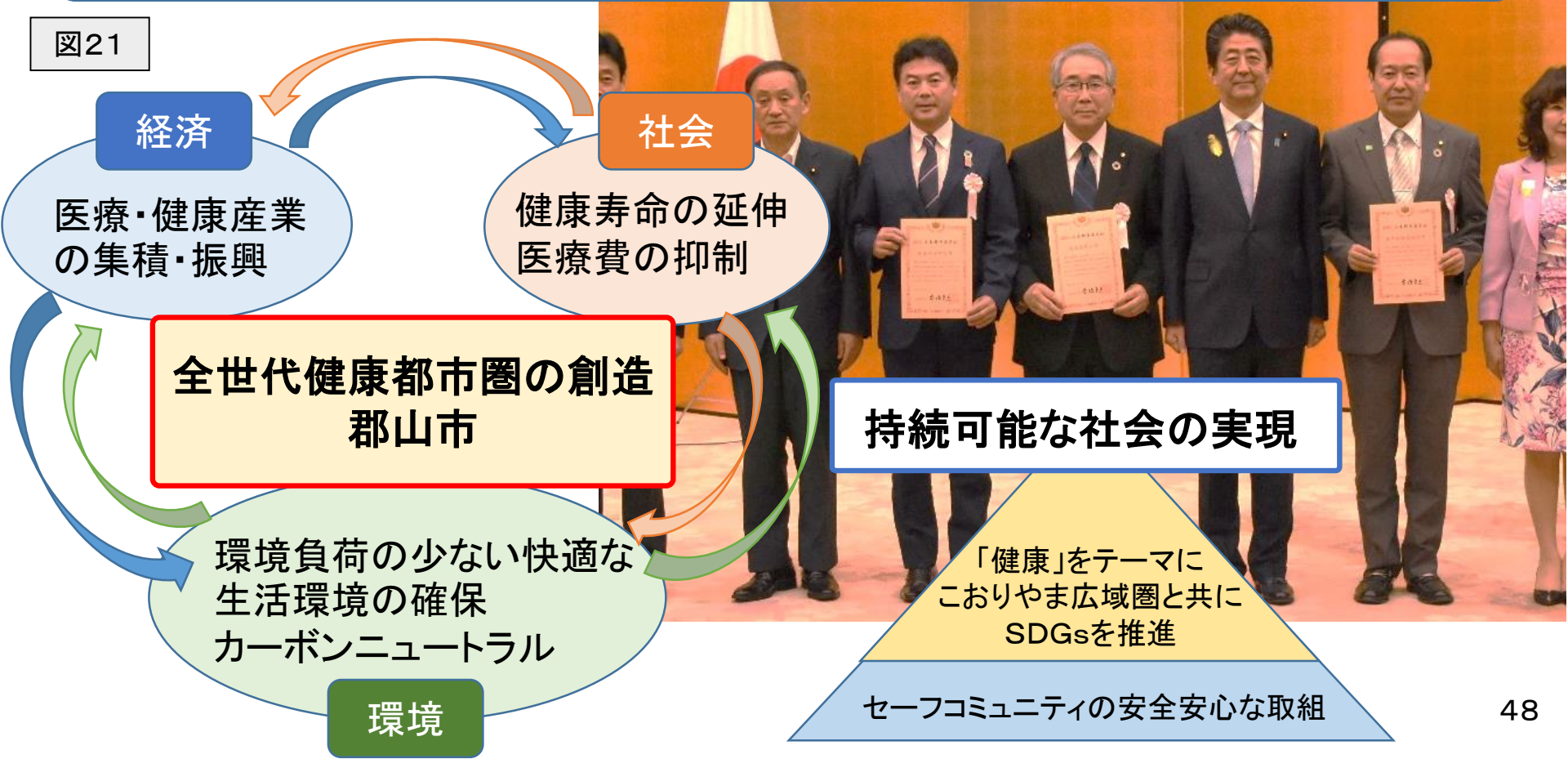
| 政策推進の重点項目 |
|-----------------------------------------------------|
| I 社会全体の「DX推進」 |
| II 「誰一人取り残さない」 SDGsの基本理念実現 |
| III 「バックキャスト思考」による 戦略的な施策推進 |
| IV 気候変動・地球温暖化を前提とした流域治水や安全安心の確保、 ゼロカーボンなど環境対策の推進 |
| V 部局間協奏と公民協奏の推進と 持続可能な「こおりやま広域圏」の 創生 |

基盤的取組: 行政経営効率化(カイゼン・ITC利活用)
セーフコミュニティ活動の推進 (デジタル市役所)
 連携中枢都市圏構想の推進



セーフコミュニティの安全安心なまちづくりがベースとなり、郡山市は、2019年7月1日、県内で初めて国の「SDGs未来都市」に選定「健康」をキーワードに「経済」、「社会」、「環境」において、近隣市町村と連携して持続可能なまちづくりに向けた先導的取組を実施

図21





VII 今後の課題と展望



重点課題の状況を分析し、バックキャスト思考により予見可能性の高い将来課題を見据えて、今後の推進体制のあり方を検討

検討の進め方 ステップ1

図22

① 対策委員会の重点課題の状況把握と分析

交通安全

高齢者の交通事故死傷者



こどもの安全

乳幼児の救急搬送数



高齢者の安全

転倒・転落による死亡者数



自殺予防

自殺者が増加傾向

防犯

DVの相談件数が増加傾向

防災・環境安全

風水害への不安



- ・免許証返納後の不便
- ・**虚弱、体力低下**
- ・コロナの影響
- ・外出自粛による影響
- ・**高齢者世帯の増加**
- ・一人暮らしの増加
- ・**人間関係が希薄**
- ・不況、貧困
- ・ネット上の誹謗中傷
- ・生活や仕事の悩み
- ・**孤立、孤独**
- ・**大規模な自然災害、気候変動**



検討の進め方 ステップ2

図23

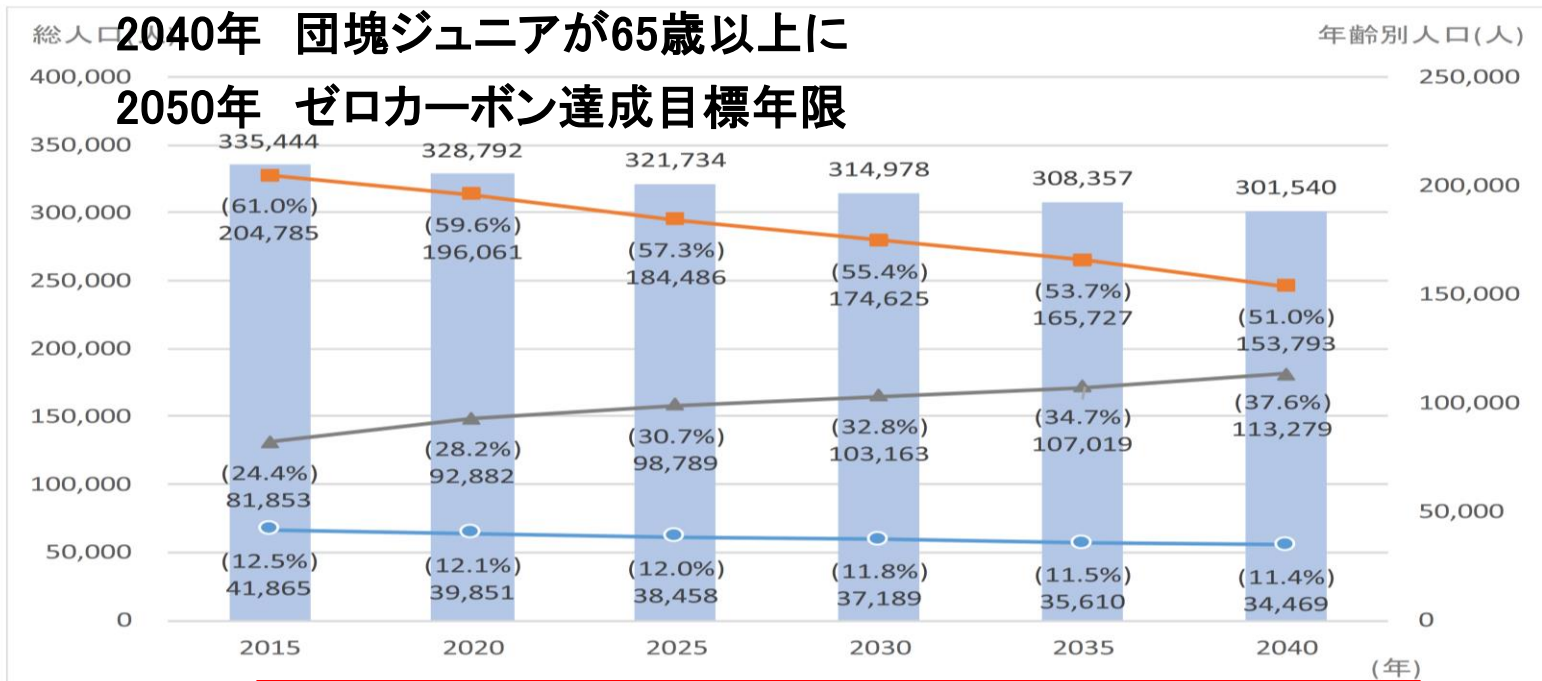
② バックキャスト思考により予見可能性の高い将来課題を検討

2025年 団塊の世代が75歳以上に

2030年 SDGs目標年限、ガソリン車廃止

2040年 団塊ジュニアが65歳以上に

2050年 ゼロカーボン達成目標年限



現状の問題について将来課題を見据えながら協議し、
解決のために必要な推進体制のあり方を検討



【1回目の検討で出た意見等】

表9

| 分野 | 会員 | 意見の内容 |
|--------|---------|----------------------------------------------------------------------------|
| 交通安全 | 交通安全協会 | 事故多発交差点の現地調査は、国道や県道の道路管理者も参加すべき。 |
| こどもの安全 | 市認可保育所 | 子どもの健診で訪れた保護者を対象に啓発をしてはどうか。 市が貸出している児童虐待防止DVDを借りたい。 |
| こどもの安全 | 民間認可保育所 | 児童虐待は犯罪であり、強く訴えるために「児童虐待犯罪の防止」とすべき。 「しつけ」と称する虐待が起きているので、正しいしつけの研修を行うべき。 |
| 高齢者の安全 | 自治会連合会 | 高齢化が進み町内会を抜ける人が増えると、これまでのコミュニティを通じた対策の効果がなくなってしまう、高齢者世帯の将来予測に基づいて対策を検討すべき。 |



【1回目の検討で出た意見等】

表10

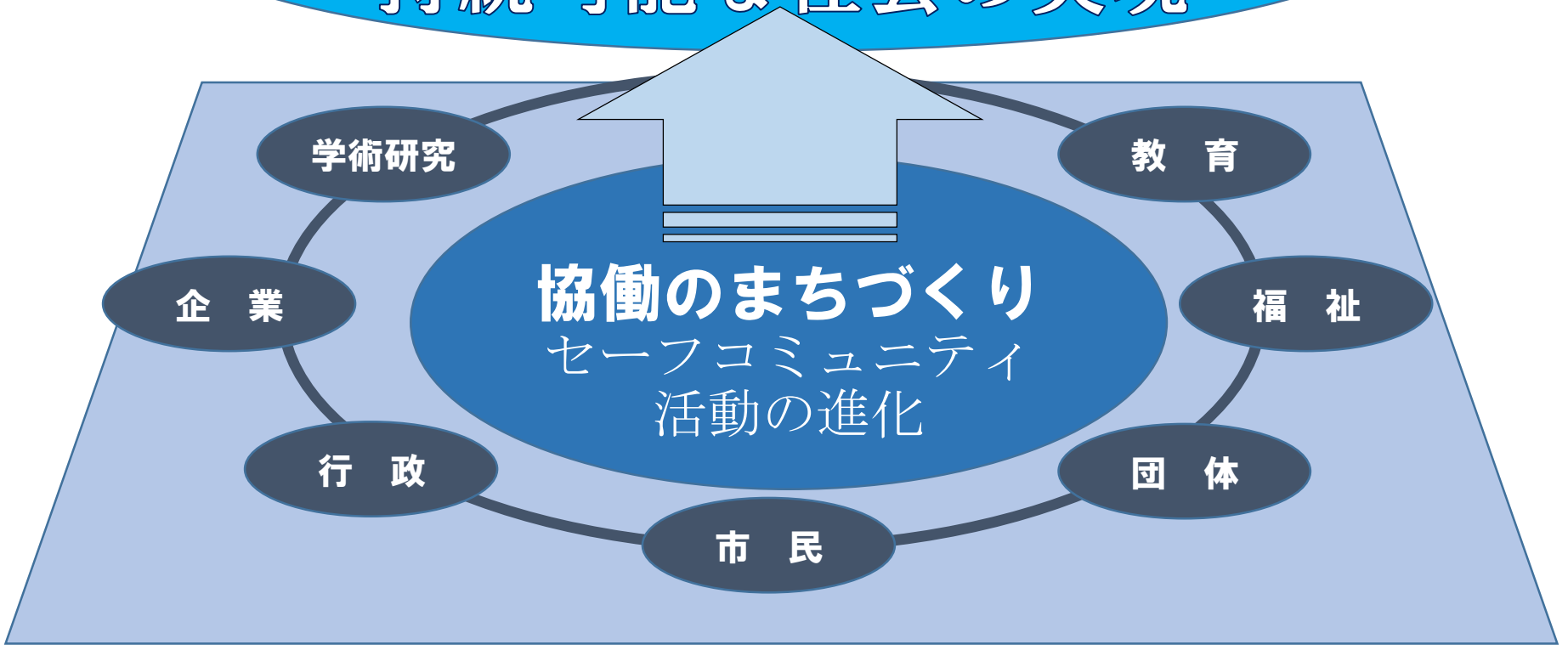
| 分野 | 会員 | 意見の内容 |
|---------|------------|-----------------------------------------------------------|
| 防犯 | 青少年健全育成協議会 | DV対策は、教育によって認識を深めることと保護するシェルター対策を併せて行うべき。 |
| 防災・環境安全 | 青少年健全育成協議会 | 町内会のコミュニティが低下して、防災講演の参加者が少ないため、地域づくりが必要である。 |
| 防災・環境安全 | 自主防災連絡会 | 自然災害が多発しているため、情報収集やデータ分析から災害の恐ろしさを市全体で共有し、対策を実行できるようにすべき。 |
| 新型コロナ | 労働基準協会 | コロナ感染拡大防止に取り組むことが第一である。 |



郡山市は、市民と行政、団体や機関の協働により
未来を創造していく「市民総活躍」のまち

誰一人取り残されない
持続可能な社会の実現

図23



ご清聴ありがとうございます



郡山市
イメージキャラクター
がくとくん

イメージキャラクター
がくとくんの妹
おんぷちゃん

— 東北のウィーン —

楽都郡山